

東京都新宿区高田馬場4丁目1番9号
公益財団法人 国際文化カレッジ
理事長 品川 恵保

平成30年度事業報告

1 平成 30 年度事業報告

I 公 1：通信教育およびこれに関連する芸術、緑、ビジネス等の継続的教育・育成事業

[1] 各事業（公 1-1～公 1-3）の連携

当年度は、公 1 の事業全体の連携を図るために、フォトマスター検定(公 1-2)において、結果通知の際に写真関連の通信教育講座(公 1-1)や総合写真展(公 1-3)の周知を行い、知識の習得の機会や、作品発表の機会を与えるなどにより、各事業（公 1-1～公 1-3）の連携、連動を図った。

[2] 公 1-1：通信教育

定款第 4 条（事業）第 1 項第（1）号「自動車技術、園芸・植物、美術・芸術、職業指導など各種通信教育」、および同第（2）号「第 1 号に掲げる通信教育の分野に関する研究」に基づき、事業運営を行った。通信教育講座の普及活動における当年度の受講生（入学者）総数は、募集予定人数 1,020 人に対して結果は 1,000 人であった。

通信教育講座について

1. 入学者、退学者および修了者の総数

文部科学省認定講座群においては、募集予定人数 395 人に対して当年度の入学者数は 281 人で、計画した人数に達しなかった。また、同退学者および修了者数等は下表の通りであった。

課程名	年度当初 受講者数	年度間の異動			年度末 受講者数
		入学者数	中退者数	修了者数	
(合計)	122	281	114	168	121
家庭園芸講座	32	38	5	35	30
自動車講座	15	98	45	54	14
総合盆栽講座	0	0	0	0	0
造園講座	0	0	0	0	0
オートバイ講座	8	12	6	7	7
ハイキングとカメラ技法講座	0	0	0	0	0
庭木と果樹の手入れ講座	7	8	0	7	8
庭の工作物手作り講座	3	1	2	0	2
写真作品創作塾	21	28	13	8	28
植物医講座	26	47	23	30	20
庭師入門講座	8	11	4	8	7
美術品鑑賞鑑定入門	2	38	16	19	5

文部科学省認定講座に準じて運営するビジネス関連を中心とする講座群においては、募集予定人数 625 人に対して当年度の入学者数は 719 人で、計画した人数を上回った。また、同退学者および修了者数等は下表の通りであった。

課程名	年度当初 受講者数	年度間の異動			年度末 受講者数
		入学者数	中退者数	修了者数	
(合計)	351	719	337	365	368
レタリング講座	29	62	38	4	49
A. 実践ボールペン字	14	23	15	7	15
C. トラブル対応力でチャンスに変える	12	19	8	12	11
D. コーチングで人を動かす	16	139	57	68	30
E. 説得力・交渉力を行使する	5	24	11	14	4
F. コミュニケーションで自信と信頼を得る	30	71	38	38	25
G. アサーション表現力で魅了する	35	56	29	28	34
I. 問題解決能力で現状を打破する	12	15	6	8	13
J. リーダーシップを発揮する	26	40	26	20	20
K. 論理的思考で実現させる	10	43	12	29	12
L. 発想力・創造力でビジョンを練り上げる	28	15	10	7	26
M. プレゼンテーションで成功する	11	15	3	11	12
N. 心理学でビジネスの成果を生む	26	98	46	48	30
O. 図解思考がクリアにする	29	25	16	12	26
P. 情報を成果に育てる	1	2	0	1	2
Q. 思わず誰かに話したくなるビジネス雑学	1	1	0	2	0
R. 眠っている9割を刺激する脳の活用法	43	42	14	26	45
S. 誰でもできる時間の超活用法	3	3	3	2	1
T. 誰もが納得、数字の力	4	4	0	8	0
U. 実効性のあるキャリアデザイン	1	7	0	4	4
V. 新・人間関係のビタミン	1	1	2	0	0
W. 強いビジネス組織をつくる	3	2	1	1	3
X. コンサル型ビジネスの達人になる	2	3	2	1	2
Y. ビジネスで恥をかかない国語学	9	9	0	14	4

2. 普及活動について

園芸、植物関連講座では、肥料・農薬・種苗メーカーを始めとする園芸・農業関連会社やホームセンターなどの職域における受講需要につき、今後もこの分野への普及活動の可能性を追求して行くものとする。

自動車講座や家庭園芸講座では、矯正施設における社会復帰等に向けた教育を目的としての採用が、当年度も継続して行われた。これにより、当年度も該当者の社会復帰等に向けた教育支援に資することができた。

写真作品創作塾については、受験者が安定的に推移しているフォトマスター検定事業（公1-2）と連携して、受験者の学習に資する講座としての普及活動も行った。

文部科学省認定講座に準じて運営するビジネス関連を中心とする講座群においては、これらを採用する企業や地方公共団体などが着実に増加してきた環境を受けて、当年度の受講生数も比較的安定しており、文部科学省認定講座群と合わせて幅広い領域における生涯学習、社会教育を推進することができた。次年度も継続してさらなる普及活動を行っていく。

3. 教材テキスト製版デジタル化の実施

前年度に引き続き、長年の修正で陳腐化した製版フィルムをデジタル化（データ化）する「教材製版デジタル化費用積立資金」（平成26年度から平成30年度までの5か年計画）の実施についてだが、当年度は本計画最終年度となり、以下の1講座を実施した。

① 「家庭園芸講座」の費用・3,110,787円。

以上を、当年度の「通信教育教材製版デジタル化積立資金」より取崩し、費消し、過年度からの諸経費を精算した。

4. 学習指導

学習指導における学習指導者（専門家）および教務責任者は下表の通りに組織して、各講座とも充実した添削指導を行い、学習途上における質問（質疑応答）に対しては詳細・的確・迅速に対応して受講生の学習意欲の向上を図った。

[文部科学省認定講座群の学習指導者および教務責任者]

講座名	学習指導者	教務責任者
家庭園芸講座	計3名 山形大学農学部卒：1名／ 日本大学生物資源科学部卒・ 2級造園施工管理技士：1名／ 東京農業大学農学部卒：1名	事務局職員 1名
自動車講座	計3名 元読売江東理工専門学校講師：1名／ 読売自動車大学校専任教員：1名／ 中央大学理工学部卒：1名	事務局職員 1名
総合盆栽講座	計2名 山形大学農学部卒：1名／ （株）花門フラワーゲート技術者・ 2級造園施工管理技士：1名	事務局職員 1名
造園講座	計3名 造園設計事務所主宰者：1名／ （株）花門フラワーゲート技術者・ 2級造園施工管理技士：1名／ 東京農業大学農学部卒：1名	事務局職員 1名
オートバイ講座	計3名 読売自動車大学校専任教員：1名／ 三井住友海上火災保険（株）アジャスター・ 元読売江東理工専門学校講師：1名／ バイクジャーナリスト：1名	事務局職員 1名
ハイキングとカメラ 技法講座	計3名 写真家：1名／ 元国立科学博物館付属自然教育園研究官：1名／ 国立科学博物館付属自然教育園研究官：1名	事務局職員 1名
庭木と果樹の手入れ 講座	計4名 造園設計事務所主宰者：1名／ 2級造園施工管理技士：1名／ 山形大学農学部卒：1名／ 東京農業大学農学部卒：1名	事務局職員 1名
庭の工作物手作り 講座	計3名 造園設計事務所主宰者：1名／ 2級造園施工管理技士：1名／ 東京農業大学農学部卒：1名	事務局職員 1名
植物医講座	計3名 東京農業大学農学部卒：2名／ 千葉大学環境健康フィールド 科学センター・農学博士：1名	事務局職員 1名

写真作品創作塾	計3名 写真家：3名	事務局職員 1名
庭師入門講座	計3名 1級造園施工管理技士：1名／ 日本大学生物資源科学部卒・ 2級造園施工管理技士：1名／ 東京農業大学農学部卒：1名	事務局職員 1名
美術品鑑賞・鑑定 入門講座	計4名 武蔵野美術大学卒：1名／ 美術評論・鑑定家：1名／ 絵画保存修復工房代表：1名／ 陶磁資料館館長補佐：1名	事務局職員 1名
文部科学省認定講座群の学習指導者および教務責任者の変更について 当年度は特に変更ありませんでした。		

[文部科学省認定講座に準じて運営する講座群の学習指導者および教務責任者]

講座名	学習指導者	教務責任者
レタリング講座	計2名 レタリング技能検定試験委員：2名	事務局職員 1名
実践ボールペン字講座	計2名 大東文化大学日本文学科卒・硬筆・毛筆書家：1名／法政大学文学部書道科履修・硬筆・毛筆書家：1名	事務局職員 1名
トラブル対応力でチャンスに変える／ コーチングで人を動かす／説得力・交渉 力を行使する／コミュニケーションで 自信と信頼を得る／アサーション表現 力で魅了する／問題解決能力で表現を 打破する／リーダーシップを発揮する ／論理的思考で実現させる／発想力・創 造力でビジョンを練り上げる／プレゼ ンテーションで成功する／心理学でビ ジネスの成果を生む／図解思考がクリ アにする／情報を成果に育てる／思わ ず誰かに話したくなるビジネス雑学／ 眠っている9割を刺激する脳の活性化法 ／誰でもできる時間の超活用法／誰も が納得、数字の力／実効性のあるキャリ アデザイン／新・人間関係のビタミン／ 強いビジネス組織をつくる／コンサル 型ビジネスの達人になる／ビジネスで 恥をかかない国語学	計2名 慶應義塾大学商学部卒・編集 企画制作事務所エムスリー代 表：1名／慶應義塾大学文学 部社会学科卒・エム・エフ・ ジー(株)顧問：1名	事務局職員 2名

添削指導の実施延べ回数は全講座の合計で3,198件、質疑応答は全講座の合計で210件であった（細目は下表）。

なお、企業・団体における受講に対しては、人事部などの統括部署宛に、受講生全員の学習進度や成績などを細かく報告するサービスも例年同様に実施した。

[文部科学省認定講座群の添削指導状況]

課程名	実施延回数	一人平均回数	受けた者の実人数
(合計)	2,343	4.6	510
家庭園芸講座	432	4.4	98
自動車講座	1,215	10.9	111
総合盆栽講座	0	0.0	0
造園講座	0	0.0	0
オートバイ講座	50	1.6	31
ハイキングとカメラ技法講座	0	0.0	0
庭木と果樹の手入れ講座	52	1.9	27
庭の工作物手作り講座	0	0.0	0
写真作品創作塾	155	7.1	22
植物医講座	243	2.2	110
庭師入門講座	49	2.1	23
美術品鑑賞鑑定入門	147	1.7	86

[文部科学省認定講座に準じて運営する講座群の添削指導状況]

課程名	実施延回数	一人平均回数	受けた者の実人数
(合計)	855	1.6	548
レタリング講座	45	1.7	26
A.実践ボールペン字	53	2.3	23
C.トラブル対応力でチャンスに変える	26	1.3	20
D.コーチングで人を動かす	197	1.5	131
E.説得力・交渉力を行使する	32	1.4	23
F.コミュニケーションで自信と信頼を得る	78	1.5	52
G.アサーション表現力で魅了する	65	1.7	38
I.問題解決能力で現状を打破する	13	1.6	8
J.リーダーシップを発揮する	41	1.6	26
K.論理的思考で実現させる	39	1.4	28
L.発想力・創造力でビジョンを練り上げる	12	1.4	9
M.プレゼンテーションで成功する	20	1.5	13
N.心理学でビジネスの成果を生む	99	1.3	76
O.図解思考がクリアにする	30	1.5	20
P.情報を成果に育てる	3	1.2	3
Q.思わず誰かに話したくなるビジネス雑学	7	2.6	3
R.眠っている9割を刺激する脳の活性化	64	2.0	32
S.誰でもできる時間の超活用法	3	2.2	1
T.誰もが納得、数字の力	1	0.5	2
U.実効性のあるキャリアデザイン	10	1.9	5
V.新・人間関係のビタミン	1	1.8	1
W.強いビジネス組織をつくる	3	1.9	2
X.コンサル型ビジネスの達人になる	4	1.7	2
Y.ビジネスで恥をかかない国語学	9	2.1	4

[文部科学省認定講座群の質疑応答状況]

課程名	実施延回数	一人平均回数	受けた者の実人数
(合計)	154	1.9	80
家庭園芸講座	0	0.0	0
自動車講座	108	2.3	47
総合盆栽講座	0	0.0	0
造園講座	0	0.0	0
オートバイ講座	7	2.1	3
ハイキングとカメラ技法講座	0	0.0	0
庭木と果樹の手入れ講座	7	1.9	4
庭の工作物手作り講座	0	0.0	0
写真作品創作塾	9	1.3	7
植物医講座	17	1.1	15
庭師入門講座	4	2.0	2
美術品鑑賞鑑定入門	2	1.0	2

[文部科学省認定講座に準じて運営する講座群の質疑応答状況]

課程名	実施延回数	一人平均回数	受けた者の実人数
(合計)	56	1.0	56
レタリング講座	8	1.0	8
A. 実践ボールペン字	1	1.0	1
C. トラブル対応力でチャンスに変える	0	0.0	0
D. コーチングで人を動かす	7	1.0	7
E. 説得力・交渉力を行使する	1	1.0	1
F. コミュニケーションで自信と信頼を得る	2	1.0	2
G. アサーション表現力で魅了する	5	1.0	5
I. 問題解決能力で現状を打破する	2	1.0	2
J. リーダーシップを発揮する	6	1.0	6
K. 論理的思考で実現させる	10	1.0	10
L. 発想力・創造力でビジョンを練り上げる	5	1.0	5
M. プレゼンテーションで成功する	2	1.0	2
N. 心理学でビジネスの成果を生む	3	1.0	3
O. 図解思考がクリアにする	0	0.0	0
P. 情報を成果に育てる	0	0.0	0
Q. 思わず難かに話したくなるビジネス雑学	0	0.0	0
R. 眠っている9割を刺激する脳の活性化法	2	1.0	2
S. 誰でもできる時間の超活用法	0	0.0	0
T. 誰もが納得、数字の力	2	1.0	2
U. 実効性のあるキャリアデザイン	0	0.0	0
V. 新・人間関係のビタミン	0	0.0	0
W. 強いビジネス組織をつくる	0	0.0	0
X. コンサル型ビジネスの達人になる	0	0.0	0
Y. ビジネスで恥をかかない国語学	0	0.0	0

[4]公1-2：通信教育に関連する知識・技能の検定

定款第4条（事業）第1項第（4）号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する知識・技能の検定」に基づき、当法人の写真関係の通信教育講座（写真作品創作塾、ハイキングとカメラ技法講座）に関連する、第16回フォトマスター／写真とカメラの実用知識検定（略称：フォトマスター検定）を、文部科学省後援により以下の通り実施した。

（イ）試験実施日

平成30年11月18日・日曜日（通常日程試験）

及び11月19日・月曜日（特別日程試験）

及び11月20日・火曜日（特別日程試験）

（ロ）試験会場

下記、各都道府県の一般会場及び団体受験会場（準会場）の、全国138箇所において実施した。

No.	会場略称	試験日	No.	会場略称	試験日	No.	会場略称	試験日	No.	会場略称	試験日	No.	会場略称	試験日
1	札幌市	11月18日	29	大阪2	11月18日	57	D108	11月18日	85	E212	11月19日	113	F311	11月20日
2	青森県	11月18日	30	兵庫県	11月18日	58	D109	11月18日	86	E213	11月19日	114	F312	11月20日
3	岩手県	11月18日	31	奈良県	11月18日	59	D110	11月18日	87	E214	11月19日	115	F313	11月20日
4	宮城県	11月18日	32	和歌山	11月18日	60	D111	11月18日	88	E215	11月19日	116	F314	11月20日
5	秋田県	11月18日	33	鳥取県	11月18日	61	D112	11月18日	89	E216	11月19日	117	F315	11月20日
6	山形県	11月18日	34	島根県	11月18日	62	D113	11月18日	90	E217	11月19日	118	F316	11月20日
7	福島県	11月18日	35	岡山県	11月18日	63	D114	11月18日	91	E218	11月19日	119	F317	11月20日
8	茨城県	11月18日	36	広島県	11月18日	64	D115	11月18日	92	E219	11月19日	120	F318	11月20日
9	栃木県	11月18日	37	山口県	11月18日	65	D116	11月18日	93	E220	11月19日	121	F319	11月20日
10	群馬県	11月18日	38	徳島県	11月18日	66	D117	11月18日	94	E221	11月19日	122	F320	11月20日
11	埼玉県	11月18日	39	香川県	11月18日	67	D118	11月18日	95	E222	11月19日	123	F321	11月20日
12	千葉県	11月18日	40	愛媛県	11月18日	68	D119	11月18日	96	E223	11月19日	124	F322	11月20日
13	東京都	11月18日	41	高知県	11月18日	69	D120	11月18日	97	E224	11月19日	125	F323	11月20日
14	東京2	11月18日	42	福岡県	11月18日	70	D121	11月18日	98	E225	11月19日	126	F324	11月20日
15	神奈川	11月18日	43	佐賀県	11月18日	71	D122	11月18日	99	E226	11月19日	127	F325	11月20日
16	新潟県	11月18日	44	長崎県	11月18日	72	D123	11月18日	100	E227	11月19日	128	F326	11月20日
17	富山県	11月18日	45	熊本県	11月18日	73	D124	11月18日	101	E228	11月19日	129	F327	11月20日
18	石川県	11月18日	46	大分県	11月18日	74	E201	11月19日	102	E229	11月19日	130	F328	11月20日
19	福井県	11月18日	47	宮崎県	11月18日	75	E202	11月19日	103	F301	11月20日	131	F329	11月20日
20	山梨県	11月18日	48	鹿児島	11月18日	76	E203	11月19日	104	F302	11月20日	132	F330	11月20日
21	長野県	11月18日	49	沖縄県	11月18日	77	E204	11月19日	105	F303	11月20日	133	F331	11月20日
22	岐阜県	11月18日	50	D101	11月18日	78	E205	11月19日	106	F304	11月20日	134	F332	11月20日
23	静岡県	11月18日	51	D102	11月18日	79	E206	11月19日	107	F305	11月20日	135	F333	11月20日
24	愛知県	11月18日	52	D103	11月18日	80	E207	11月19日	108	F306	11月20日	136	F334	11月20日
25	三重県	11月18日	53	D104	11月18日	81	E208	11月19日	109	F307	11月20日	137	F335	11月20日
26	滋賀県	11月18日	54	D105	11月18日	82	E209	11月19日	110	F308	11月20日	138	F336	11月20日
27	京都府	11月18日	55	D106	11月18日	83	E210	11月19日	111	F309	11月20日			
28	大阪府	11月18日	56	D107	11月18日	84	E211	11月19日	112	F310	11月20日			

(ハ) 受験者数、合格者数等

写真・カメラに関わる実用知識、技能を客観的に評価認定する検定事業として、当年度は下表の通り、3級～1級の応募者数は5,489人、受験者数は4,932人、合格者数は2,976人の結果であった。なお、受験料は、前年度同様に自主会場（準会場）を設置しての団体受験の場合は10%を、一般会場で受験する団体受験の場合は5%を割り引いて実施した。

受験級	区 分	応募者数	受験者数	合格者数
3 級	個人受験・一般会場	491	438	423
	団体・一般会場受験	58	54	49
	団体・自主会場受験	512	454	344
2 級	個人受験・一般会場	876	801	708
	団体・一般会場受験	197	189	141
	団体・自主会場受験	1,056	968	613
準1級	個人受験・一般会場	629	529	284
	団体・一般会場受験	103	91	31
	団体・自主会場受験	377	361	84
1 級	個人受験・一般会場	614	516	203
	団体・一般会場受験	120	95	21
	団体・自主会場受験	456	436	75
小 計		5,489	4,932	2,976
EX認定コース	(1ジャンル認定)	14	14	10
	(総合認定)	17	17	10
	(追加総合認定)	4	4	3
小 計		35	35	23
合 計		5,524	4,967	2,999

(ニ) 普及活動

各階級の受験者のプロフィールを下表の通りに設定し、一般写真愛好者から写真・カメラ関連業界の従事者に至るまでに機能する検定として、当法人の写真関連通信教育講座の受講生・修了生をはじめ、当法人が開催する総合写真展の出品者・観覧者や全国の写真愛好者、写真・カメラ関連業界など不特定多数の者を対象として、カメラ関係専門誌での広報、関連施設への受験案内書の配布やDM、関係社等への団体受験の広報活動により受験者を募る普及活動を行った。

階級	一般グループ	業界関連グループ
1 級	写真専攻大学生 優秀レベル	メーカー 営業責任者
	写真専門学校生 優秀レベル	販売店 販売責任者
	メーカー等のスクール指導者	プロラボ/総合ラボ 責任者
		写真館 撮影担当
		アシスタントカメラマン
		専門誌編集者
準1級	写真専攻大学生 並レベル	メーカー 営業担当
	写真専門学校生 並レベル	販売店 販売担当
	高校写真部顧問	プロラボ/総合ラボ 従事者
	写真愛好家 歴10年以上	技術・営業担当者
	地域のサークルリーダー	
2 級	中学校写真顧問	メーカー 事務従事者
	高校写真部員	ミニラボ オペレーター
	写真愛好家 歴5～10年	写真館 窓口担当
	メーカー等のスクールメンバー	一般紙誌編集者
	地域のサークルメンバー	各種企業広報担当者
	カメラ機械愛好家	デザイナーアシスタント
	カメラ雑誌愛読者	フリー記者・ライター
3 級	中学写真部員	DPE 窓口担当者
	趣味愛好家 歴5年未満	(取次店含む)
	撮影機会の多い一般者	

(ホ) 検定委員等

試験問題の作成、合否判定等に関わる当年度の検定委員は、下表の通りの写真家および写真・カメラ関連メーカー技術者により構成し、資機材の汎用的技術・機能はもとよりメーカー毎の独自の技術や機能等も試験問題に正確に反映させた。また、試験問題について、(一社)日本写真学会の学識経験者による監修も経て、より有意なものとするに努めた。

	氏名等
プロ写真家・ 評論家関係	徳光ゆかり/テラウチマサト/那和秀峻 板見浩史/赤松秀夫/枝常伊佐央/大久保晴功
写真・カメラメ ーカ-技術者 関係	オリンパス(株): 1名/ キヤノンマーケティングジャパン(株): 1名/ (株)タムロン: 1名/(株)シグマ: 1名/ (株)ケンコー・トキナー: 1名/ (株)ニコンイメージングジャパン: 1名/ パナソニック(株): 1名/富士フイルムイメージングシステ ムズ(株): 1名/リコーイメージング(株): 1名/ (株)市川ソフトラボラトリー: 1名

(ヘ) 成績優秀者の顕彰

検定試験の結果が優秀と認められた団体受験または個人受験については、別に定める選考基準に基づき、以下の通り表彰した。

	団体受験に対して	個人受験に対して
文部科学大臣賞	1団体	4名(各級1名)
当法人による表彰	最優秀団体賞 1団体 優秀団体賞 8団体 人材育成貢献賞 6団体	最優秀個人賞 7名 優秀個人賞 49名 (各級合計)

[5] 公1-3: 写真・水墨画・絵画等の展覧会

定款第4条(事業)第1項第(5)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」に基づき、当法人の通信教育受講生の継続学習の促進や広く一般の美術、芸術文化の普及、振興に寄与する目的で、以下の通りに展覧会を開催した。

(イ) 総合写真展

1. 展示点数等

当年度・第22回展では、審査により入選以上に該当した1,651点の作品を展覧会会場(下記4.)に展示して公開した。

出品部門		展示作品数
半切サイズ	フィルム写真部門	111
	デジタル写真部門	929
全紙サイズ	フィルム写真部門	70
	デジタル写真部門	541
合 計		1,651

2. 公募活動

前年度同様、当法人の「写真作品創作塾」、「ハイキングとカメラ技法講座」といった写真関連の通信教育講座を中心とする受講生・修了生に対して、写真作品を発表または無料観覧できる機会を提供して継続的学習に資し、同時に当法人が実施するフォトマスター検定の受験者、あるいは当法人が運営する展示館施設の観覧者・利用者を含む不特定多数の者に門戸を開く公募展として、カメラ関係専門誌、案内DM、カメラ関係販売店店頭でのリーフレット配布等の広報活動により作品を募集した。なお、出品希望者に対しては全員に、出品に関わる事項を詳述した当年度の出品要項(出品票付)を事前に送付した。

3. 審査、審査員等

審査員は、実績のある写真家を中心とする以下の専門家で構成し、応募作品

の審査方法、審査基準、授賞等については、「写真・水墨画・絵画等の展覧会管理運営規則」に基づいて運営した。なお、最終審査はその厳正を図るために、出品作品を希望規定サイズ(半切または全紙サイズ)にプリント(紙焼き)した作品により行った。

氏名	経歴
川合 麻紀	プロ写真家
徳光 ゆかり	プロ写真家
テラウチマサト	プロ写真家
板見 浩史	写真評論家
丸林 正則	プロ写真家

4. 会期、会場、参観者数等

平成30年12月5日(水)から12月11日(火)の会期で、東京都美術館・2階第3～4展示室・1階第4展示室(東京都台東区上野公園8-36)を会場に、写真文化の普及、振興のために入場料を無料として開催した。なお、各作品には、出品者氏名・作品名・授賞名を付して展示・公表し、開催期間中の参観者は4,692人であった。

5. 表彰式

表彰式には全国より256名の出品者が参加し、平成30年12月5日(水)、午前10時より11時45分の時間帯で浅草ビューホテル(東京都台東区西浅草3-17-1)において開催した。なお、表彰式への参加は無料とし、付き添いについても席を用意して入場できるように配慮した。

6. 審査結果の公表

審査結果は、入選以上の全展示作品について、氏名・賞名等を記載した「出品目録」を作成して展覧会場で観覧者等に無料配布して公表し、また上位作品については作品写真・氏名・賞名を全国版写真専門誌に掲載して公表した。

(ロ) 日美展「水墨画部門」

1. 展示点数等

第2回展では、審査により入選以上に該当した811点の作品を展覧会会場(下記4.)に展示して公開した。当事業の計画は、前回の展示数をもとに1,000点の展示とほぼ同数予測をしたが、新生1回展の反動減が発生したことにより、大幅減となった。

出品の部		展示作品数
作家の部	F30号/F20号/F15号	122
一般の部	F30号/F20号/F15号/F10号 /F8号/F6号/半切1/2	474
臨画の部	F10号/F8号/F6号/半切1/2	167
俳画の部	F8号/F6号/色紙	36
無鑑査出品	F50号/F30号/F20号	12
合計		811

2. 公募活動

当法人の美術関連の通信教育講座(美術品鑑賞・鑑定入門講座、レタリング講座)を中心とする受講生・修了生に対して、墨を主体にして描く水墨画作品(類似の俳画作品を含む)を発表または無料観覧できる機会を提供して継続的学習に資し、同時に不特定多数の者にも門戸を開く公募展として、インターネット広告、案内DM、リーフレット配付などにより作品を募集した。なお、出品希望者に対しては全員に、出品に関わる事項を詳述した当年度の出品要項(出品票付)を事前に提示した。

3. 審査、審査員等

当年度の審査員および本展実行委員は以下の水墨画家等専門家で構成し、応募作品の審査、審査基準、授賞等については、「写真・水墨画・絵画等の展覧会管理運営規則」に基づいて運営した。

※当年度は下記 32 名の委嘱審査員のうち、大竹 卓／川端 豊次／久山 一枝／小林 東雲／沈 和年／根岸 嘉一郎／藤崎 千雲／松本 深雪の 8 名の専門家が当番審査員として審査に当たった。

五十嵐 玉俊（水墨画家）／伊藤 昌（水墨画家）／打矢 恵（水墨画家）／畝村 石道（水墨画家）／浦上 義昭（水墨画家）／王 子江（水墨画家）／大竹 卓（水墨画家）／岡原 大華（水墨画家）／岡村 南紅（水墨画家）／川端 豊次（水墨画家）／金 醒石（水墨画家）／久山 一枝（水墨画家）／小林 東雲（水墨画家）／潮見 冲天（水墨画家）／篠原 貴之（水墨画家）／沈 和年（水墨画家）／杉谷 隆志（水墨画家）／高橋 英男（水墨画家）／千野 曜生（水墨画家）／千葉 玄象（水墨画家）／根岸 嘉一郎（水墨画家）／濱中 応彦（水墨画家）／藤崎 千雲（水墨画家）／馬 驍（水墨画家）／松井 陽水（水墨画家）／松本 深雪（水墨画家）／丸山 東子（水墨画家）／村山 華風（水墨画家）／山田 大作（水墨画家）／姚 小全（水墨画家）／吉見 公子（水墨画家）／王俊 宇瀟（水墨画家）

※審査員による審査結果の最終承認等を行う当年度の「実行委員」は以下により組織した。

河野 元昭（静嘉堂文庫美術館館長）／島尾 新（学習院大学教授）／町田 泰宣（公益社団法人日本南画院会長）／品川 恵保（当法人理事長）

4. 会期、会場、参観者数等

平成 30 年 8 月 9 日から 8 月 18 日の会期で、国立新美術館（東京都港区六本木 7-22-2）を会場に、美術・芸術文化の普及、振興のために入場料を無料として開催した。なお、各作品には、出品者氏名・作品名・授賞名を付して展示、公表し、開催期間中の参観者は 7,675 名であった。

5. 表彰式

表彰式には全国より 155 名の出品者が参加し、平成 30 年 8 月 9 日、午前 10 時より 11 時 30 分の時間帯で ANA インターコンチネンタルホテル東京（東京都港区赤坂 1-12-33）において開催した。なお、表彰式への参加は無料とし、付き添いについても席を用意して入場できるように配慮した。

6. 審査結果の公表および作品集

審査結果は、入選以上の全展示作品について、氏名・賞名等を記載した「出品目録」を作成して展覧会場で観覧者等に無料配布して公表し、また、入選以上の全作品を掲載した作品集も制作して公表・販売し、当年度は 535 部を発行した。

(ハ) 日美展「絵画部門」

1. 展示点数等

当年度・第2回展では、審査により入選以上に該当した1,390点の作品を展覧会会場（下記4.）に展示して公開した。

出品の部		展示作品数
油絵の部	F30号/F20号	200
	F15号/F10号	146
	F8号/F6号/F4号	128
水彩画の部	F30号/F20号	85
	F15号/F10号	114
	F8号/F6号/F4号	228
パステル画の部	F30号/F20号	11
	F15号/F10号	17
	F8号/F6号/F4号	23
色鉛筆画の部	F30号/F20号	20
	F15号/F10号	49
	F8号/F6号/F4号	108
デッサンの部	F30号/F20号	6
	F15号/F10号	11
	F8号/F6号/F4号	26
日本画の部	F30号/F20号	28
	F15号/F10号	18
	F8号/F6号/F4号	19
ちぎり絵の部	F10号	13
	F8号/大色紙	49
絵手紙の部	ハガキ形式/ 巻き手紙形式	91
合 計		1,390

2. 公募活動

当法人の美術関連の通信教育講座（美術品鑑賞・鑑定入門講座、レタリング講座）を中心とする受講生・修了生に対して、油絵・水彩画・パステル画・色鉛筆画・デッサン・日本画・ちぎり絵・絵手紙の各ジャンルの絵画作品を発表または無料観覧できる機会を提供して継続的学習に資し、同時に当法人が運営する展示館施設（軽井沢千住博美術館、および軽井沢ギャラリー館）の観覧者を含む不特定多数の者にも門戸を開く公募展として、案内DMやリーフレット配付、協賛社を窓口とする広報活動等により作品を募集した。なお、出品希望者に対しては全員に、出品に関わる事項を詳述した当年度の出品要項（出品票付）を事前に送付した。

3. 審査、審査員等

当年度の審査員および本展大賞選考委員は以下の画家等専門家で構成し、応募作品の審査、審査基準、授賞等については、「写真・水墨画・絵画等の展覧会管理運営規則」に基づいて運営した。

※「審査員」は以下の通り、部門別に当該分野の専門画家を置き、各部別の審査に当たった。	
油絵の部	板倉 略（画家）／遊馬 賢一（画家）
水彩画の部	西丸 式人（画家）／岸本 庄八郎（画家）
パステル画の部	たのい 俊一（画家）／大枝 隆司郎（画家）
色鉛筆画の部	大枝 隆司郎（画家）／林 佳名（画家）
デッサンの部	村松 昌三（画家）
日本画の部	山本 真也（画家）／井坂 洋一（画家）
ちぎり絵の部	早川 美子（ちぎり絵作家）／玉井 祐子（ちぎり絵作家）
絵手紙の部	花城 祐子（絵手紙作家）／森川 百合子（絵手紙作家）
※上記の審査員による各部別の審査結果に基づいて、部を横断しての上位優秀作品に授与する賞（全体賞）を選定、決定する当年度の「大賞選考委員」は、以下により組織した。	
川口 紀美雄（画家）／千足 伸行（成城大学教授、画家）／中野 淳（武蔵野美術大学名誉教授、画家）／永井 龍之介（美術鑑定士他）／品川 恵保（当法人理事長）	

4. 会期、会場、参観者数等

平成30年8月9日(木)から8月18日(土)の会期で、国立新美術館（東京都港区六本木7-22-2）を会場に、美術・芸術文化の普及、振興のために入場料を無料として開催した。なお、各作品には、出品者氏名・作品名・授賞名を付して展示、公表し、開催期間中の参観者は9,290名であった。

5. 表彰式

表彰式には全国より284名の出品者が参加し、平成30年8月10日(金)、午前10時より11時30分の時間帯でANAインターコンチネンタルホテル東京（東京都港区赤坂1-12-33）において開催した。なお、表彰式への参加は無料とし、付き添いについても席を用意して入場できるように配慮した。

6. 審査結果の公表および作品集

審査結果は、入選以上の全展示作品について、氏名・賞名等を記載した「出品目録」を作成して展覧会場で観覧者等に無料配布して公表し、また、入選以上の全作品を掲載した作品集も制作して公表、販売し、当年度は693部を発行した。

[6] 公1-4：芸術・自然科学に関する展示館施設

定款第4条（事業）第1項第（5）号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」に基づき以下の通りに事業を運営した。

（イ）軽井沢千住博美術館

1. 展示作品等

一般の観覧者はもとより、当法人の「美術品鑑賞・鑑定入門講座」、「写真作品創作塾」、「レタリング講座」といった美術・芸術関連の通信教育講座を中心とする受講生・修了生の継続的学習に資し、あるいは当法人が開催する「日美展（水墨画部門、絵画部門）」、「総合写真展」の出品者、観覧者を含む不特定多数の者に対する美術・芸術の涵養にも資するべく、「ウォーターフォール」、「星のふる夜に」、「ザ・フォール」、ほか、千住博氏の初期作品から現在までの延べ数十点を選抜して展示した。

2. 開館日数、入館者数、障害者の入館料免除対応等

当年度は、平成30年4月1日から平成31年3月31日（平成30年12月25日から平成31年2月28日の期間は冬期休館）の期間で、開館日数は271日、延べ入館者数は下表の通り49,451名であった。なお、入館料を全額免除としている障害者および中学生以下の当年度の入館者数は、障害者が1,377名、中学生以下が1,869名となり、一定の社会貢献を果たすことができた。

入館者区分		入館人数
有料入館者	一般・個人	45,989
入館料免除対象者	障害者	1,377
	中学生以下	1,869
その他	招待等	216
合計		49,451

(ロ) 軽井沢ギャラリー館

当年度は、昨年度の3月1日から4月15日までを、公1-3(ハ)事業との連携として「カルビ『7、8人のサムライ』展」、4月18日から5月13日までを、公1-3(イ)事業との連携として「軽井沢『追分写遊会』写真展」、5月16日から7月17日までを、公1-4(イ)事業との連携として「千住博版画展」、7月20日から9月3日までを、公1-3(ハ)事業との連携として「梅原龍三郎 浅間山と共に過ごす夏展」、9月6日から9月30日までを、公1-3(ハ)事業との連携として「院展巨匠展」、10月3日から10月29日までを、公1-3(ハ)事業との連携として「天紫生絵画展」、11月1日から11月26日までを「I S A K コミュニティー展」、11月29日から12月24日までを、公1-4(イ)事業との連携として「千住博のパブリックアート展」、本年3月1日から次年度4月14日までを、公1-3(ハ)事業との連携として「ほぼカルビ展」を開催した。このように、当ギャラリー館では、多角的な展示を行なうことで、軽井沢千住博美術館の観覧と合わせて美術、芸術文化等の振興に広く寄与するべく事業を実施した。

開催期間	催し内容
平成30年3月1日～ 平成30年4月15日	カルビ『7、8人のサムライ』展
平成30年4月18日～ 平成30年5月13日	軽井沢『追分写遊会』写真展
平成30年5月16日～ 平成30年7月17日	千住博版画展
平成30年7月20日～ 平成30年9月3日	梅原龍三郎 浅間山と共に過ごす夏展
平成30年9月6日～ 平成30年9月30日	院展巨匠展
平成30年10月3日～ 平成30年10月29日	天紫生絵画展
平成30年11月1日～ 平成30年11月26日	I S A K コミュニティー展
平成30年11月29日～ 平成30年12月24日	千住博のパブリックアート展
平成31年3月1日～ (平成31年4月14日)	ほぼカルビ展

(ハ) 軽井沢カラーリーフガーデン

1. カラーリーフガーデンの活用

Acer platanoides 'Crimson king' (ノルウェーカエデ 'クリムソン・キング' /カエデ科) や *Betula pendula* 'Golden Cloud' (ヨーロッパシラカバ 'ゴールデン・クラウド' /カバノキ科) などの木本、 *Lysimachia ciliata* 'Fire Cracker' (リシマキア・キリアタ 'ファイヤー・クラッカー' /サクラソウ科) や *Tradescantia × andersoniana* 'Sweet Kate' (トラデスカンティア・アンダーソニアナ 'スイート・ケイト' /ツユクサ科) などの草本等々、他の植物園等では見聞し難いカラーリーフプランツを約 150 種類以上、総数約 6 万株植栽している本ガーデンについては、植栽している主な種類の名前を科名・学名付で表記し、その写真も掲載した銘板を作成してガーデン内の主な繁茂地に設置し観覧者の啓発、教化に努めている。本年度は設置している銘板に一部劣化がみられたのでメンテナンスを行った。

(ニ) 平成 30 年度の美術品購入について

美術品購入は、「美術品購入積立資金」計画に基づいて行われている。平成 30 年度は、総額・71,020,000 円を積立資金より取崩し費消した。費用の明細は以下の通りである。

- ①千住博『WORLD' S END#16』(2017 年) 購入費・28,620,000 円、
- ②千住博『WORLD' S END#18』(2017 年) 購入費・32,400,000 円、
- ③千住博 前年度購入絵画未払金・10,000,000 円

Ⅱ 収1：出版、物品販売、展覧会に関わる表装代行・親睦パーティー、貸室および業務受託の事業計画

[1]収1-1：出版

定款第4条（事業）第1項第（3）号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する各種出版物の刊行」に基づき、当法人が運営する通信教育講座の学習内容等に関連する以下の検定試験の受験対策用教本等を、受験希望者にカタログで案内するなどして販売した。当事業の計画では、フォトマスター検定関係：2,900冊、デジタル技術検定関係が1,100冊、レタリング技能検定関係で7,230冊であった。実販売数は、フォトマスター検定関係は、1,273冊と目標値の半数に留まった。最新刊を刊行したが、受験者減などの影響もあり、想定を大幅に下回った。

デジタル技術検定関係は、ほぼ計画通りの1,062冊の販売となった。ラジオ・音響技能検定関係は休止により販売予測を計画しなかったが、4冊の販売があった。

レタリング技能検定関係は文字骨格練習帳が教育現場での理解が進まずに販売が伸びず、4,426部と予定数の4割減の実績となった。

関連する当法人の通信教育講座等	出版物の内容・種類と販売部数
文部科学省認定 「写真作品創作塾」 （公1-1） 文部科学省認定 「ハイキングとカメラ技法講座」 （公1-1） フォトマスター検定 （公1-2）	写真・カメラの全般的な知識、技法に関わるフォトマスター検定について、その過去問題の解答・解説を行う受験対策用教本。写真・カメラの全般的な基礎知識、基本技法について学ぶ教本 <出版物の種類> ①フォト検 過去問題の解答と解説1～6 / ②写真とカメラの基礎知識2 <販売部数> 当年度の販売部数は、合計：1,273部 ①フォト検 過去問題の解答と解説1～6：767部 ②写真とカメラの基礎知識2：506部
文部科学省認定 「自動車講座」 （公1-1） 文部科学省認定 「オートバイ講座」 （公1-1） 文部科学省認定 「写真作品創作塾」 （公1-1） 文部科学省認定 「ハイキングとカメラ技法講座」 （公1-1） フォトマスター検定 （公1-2）	自動車・オートバイ、あるいはデジタルカメラのデジタルシステムや音響に関係する、デジタル技術検定、またはラジオ・音響技能検定の過去問題の解答・解説等の受験対策用教本。 <出版物の種類：デジタル技術検定関係> 4級試験問題集 / 3級試験問題集 / 2級制御部門試験問題集 / 2級情報部門試験問題集 <出版物の種類：ラジオ音響技能検定関係> 4級最新既出問題集 / 4級受験読本 / 3級最新既出問題集 / 3級受験読本 / 2級最新既出問題集 / 2級技術教本 <販売部数> 当年度の販売部数はデジタル技術検定関係で計1,058部、ラジオ音響技能検定関係で計4部、合計1,062部であった。
レタリング講座 （公1-1） レタリング技能検定 （収1-5）	レタリングに関する用語解説、常用漢字の文字見本帳の役割をはたすもの。下書きから墨入れまで手順を追って、レタリングの技法を詳細に解説したもの。検定試験の各級の範囲や選定基準が網羅されており、レタリング技能検定のすべてが分かる参考書。 <出版物の種類> 書体サンプル集 / 文字骨格練習帳 <販売部数> 書体サンプル集：3,684部。文字骨格練習帳：742部

[2]収 1-2 : 物品販売

定款第4条(事業)第1項第(5)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」に基づき、以下の通りに当法人主催の展覧会に関わる出品作品の制作等に必要の用具用材類販売、出品者自身の展示作品を印刷するなどした記念品類の販売、および展覧会会場に設置した売店での用具用材類の販売、ならびに当法人の展示館施設(ミュージアムショップ)における観覧者への関連商品等の販売を行った。なお、日美展に関わる出品希望者または出品者に対する関連商品の販売は、出品希望者に配布する出品資料へのカタログ同封、あるいは入選以上該当者への授賞名通知(審査結果通知)にカタログを添付するなどして購入者を募った。当事業は社会情勢など購買層の購買力・購買意欲に大きく影響されるため、予想を的確に見込むことは非常に難しいが、魅力ある商品の展開を模索し続けることで、一人当たりの購買金額の向上を目指し、収益を改善させ収益性を高めることを目標とする。

	販売品目と販売点数等
日美展 〔絵画部門〕 関連商品類 (公13)	<p><カタログでの販売品目> 油絵用筆類/油絵具類/キャンバス類/画用液/水彩用筆類/水彩絵具類/水彩用紙/色鉛筆/日本画用筆/麻紙ボード/パステル/パステル用フィキサチーフ/パステル用スケッチブック/汎用スケッチブック/ちぎり絵用和紙類/ちぎり絵用台紙/顔彩類/画用印/絵手紙用筆/絵手紙箋/自作を印刷したパネル/自作を印刷したハガキセット等、約 65 品目</p> <p><同販売点数等> 当年度は、購入者が 703 人、販売商品の延べ販売数が 1,341 点であった。</p>
日美展 〔水墨画部門〕 関連商品類 (公13)	<p><カタログでの販売品目> 毛筆類/墨/墨液/顔彩/用紙類/印泥付雅印/印泥/印矩/下敷/紙断包丁/ドーサ塗り用刷毛/ドーサ液/わんぱう/膠液/自作を印刷したパネル/自作を印刷したハガキセット等、約 160 品目</p> <p><同販売点数等> 当年度は、購入者が 552 人、販売商品の延べ販売数が 1,155 点であった。</p> <p><会場に設置した売店コーナーでの販売> 上記に準じた水墨画関連の用具・用材類を中心に雑多取り揃えて会場の一角に売店コーナーを設け、出品者や観覧者の便にも供する目的で販売した。本売店における収入は 461,070 円であった。</p>
展示館施設 関連商品類 (公14)	<p><販売品目> ポストカード/レターセット/ミュージアムフォルムノート/オリジナル名刺入れ/作品アートタイル/シンボルマークキーホルダー/オリジナル菓子類/美術館カタログレゾネ/美術館 DVD/千住博の各種著作物/カラーリーフガイドブック等、約 400 品目</p> <p><販売点数等> 当年度は、販売商品の延べ販売点数は 41,822 点であった。</p>

[3]収 1-3：展覧会に関する表装代行・親睦パーティー

定款第4条（事業）第1項第（5）号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」に基づいて開催した各展覧会に関わる展示作品（入選以上該当作品）の表装代行、および出品者が希望により参加する親睦パーティーの開催に関わる事業を以下の通りに運営した。なお、各展覧会における表装は、額装や軸装などの材質・形状・色柄等の違いなど本来の作品性とは異なる二次的要素によって作品の本質的な鑑賞が妨げられることを防ぐためにその規格と品質、仕様の統一を図る目的で、あるいは出品者が全国各地にわたり在住地域によっては適確な表装手配に困難を来す場合もあること、あるいは不良梱包などにより表装が発送途上で破損する危険を回避し、表装済作品の嚴重梱包・送付に要する出品者負担を軽減するなど、出品者の利便性確保の目的で、事前に表装代行に関わる料金等を出品要項に記載してこれを出品希望者全員に知らせめた上で当法人が信頼できる専門業者を選定して代行依頼した。また、出品者に対しては、展覧会終了後に、リースの場合は作品のみを（総合写真展および日美展「水墨画部門」は裏打ち・マット付の状態）、買取の場合は表装した状態のままで返送した。

(イ) 総合写真展（公1-3）に関わる表装代行、親睦パーティー

表装区分		表装（規定サイズへの紙焼き除く）代行した作品点数
半切	買取	673
	リース	367
全紙	買取	455
	リース	156
合計		1,651
総合写真展の親睦パーティーは会費制により以下の通り実施した		
開催日時：平成30年12月5日（水）12時～14時		
場 所：浅草ビューホテル（東京都台東区西浅草3-17-1）		
参加人数：83人		
その他事項：上位作品をスライド映写して会場で公表すると同時に審査員による当該作品の講評と解説を行った。		

(ロ) 日美展「水墨画部門」（公1-3）に関わる表装代行、親睦パーティー

表装区分		表装代行した作品点数
F30号	買取	136
	リース	60
F20号	買取	106
	リース	64
F15号	買取	51
	リース	16
F10号	買取	78
	リース	21
F8号	買取	102
F6号	買取	28
半切1/2	買取	134
色紙	買取	15
合計		811
日美展「水墨画部門」の親睦パーティーは会費制により以下の通り実施した		
開催日時：平成30年8月9日（木）12時～14時		
場 所：ANA インターコンチネンタルホテル東京（東京都港区赤坂1-12-33）		
参加人数：99人		
その他事項：上位作品をスライド映写して会場で公表すると同時に審査員による当該作品の講評と解説を行った。		

(ハ) 日美展「日美絵画展」(公 1-3) に関わる表装代行、親睦パーティー

表装区分		表装代行した作品点数
F30 号	買取	141
	リース	50
F20 号	買取	110
	リース	49
F15 号	買取	90
	リース	25
F10 号	買取	196
	リース	57
F8 号	買取	205
F6 号	買取	213
F4 号	買取	149
大色紙	買取	14
ハガキ形式	買取	57
巻き手紙	買取	34
合 計		1,390
日美展「絵画部門」の親睦パーティーは会費制により以下の通り実施した 開催日時：平成 30 年 8 月 10 日(金) 12 時～14 時 場 所：ANA インターコンチネンタルホテル東京(東京都港区赤坂 1-12-33) 参加人数：147 人 その他事項：上位作品をスライド映写して会場で公表すると同時に審査員による当該作品の講評と解説を行った。		

[4] 収 1-4：貸室

定款第 4 条(事業)第 1 項第(5)号「第 1 号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」および同第(6)号「その他この法人の目的達成に必要な事業」に基づき、貸室料を前払いで月額 216,000 円(税込)、水道光熱費を実費払いとして当法人の展示館施設(公 1-4)の建物の一部(床面積 162.13 m²)をカフェ用に貸室する事業を運営した。

[5] 収 1-5：業務受託等

定款第 4 条(事業)第 1 項第(2)号「第 1 号に掲げる通信教育の分野に関する研究」に基づき、関連通信教育講座の学習指導等に寄与、反映させるべく、「デジタル技術検定」(当法人の自動車、オートバイ、デジタルカメラ関連講座に関連)、レタリング技能検定(当法人の美術品鑑賞・鑑定入門講座、日美展に関連)の試験実施に関わる業務(受験に関わる案内書配布等、試験会場予約、検定委員会運営、試験日の諸対応等)を主催事業として実施した。

(イ) デジタル技術検定

1. 試験実施日

平成 30 年 6 月 24 日・日曜日

平成 30 年 11 月 25 日・日曜日

2. 試験会場

各都道府県の本会場及び特設会場(準会場)において実施した。

6 月(本会場 13、準会場 24、計 37 会場)

11 月(本会場 13、準会場 32、計 45 会場)

3. 受験者数、合格者数等

本検定は、情報処理・制御に関する技術をデジタル技術という観点からまとめて評価するもので、当年度は下表の通り、応募者数は 2,577 人、受験者数は 2,305 人、合格者数は 1,565 人の結果であった。なお、受験料は本会場実施団体および延べ 30 名以上の準会場団体の場合は 10%を、一般会場で受験する団体受験の場合は延べ 15 名以上受験で 10%を割り引いて実施した。

受験級	応募者数	受験者数	合格者数
1級情報	50	44	22
1級制御	73	55	18
2級情報	645	574	414
2級制御	689	610	397
3級	838	781	514
4級	282	241	200
合計	2,577	2,305	1,565

4. 普及活動

工業高校・高等専門学校などの関連する教育機関や企業に受験案内書を送付する他、ポスター掲示、ウェブサイト、新聞広告、専門誌への情報提供等により、受験者を募集した。

5. 検定委員等

検定委員は下記学識経験者により構成し、委員会を開催して、試験問題の作成や可否判定等を行った。

日本大学名誉教授：1名／東京工業高等専門学校名誉教授：1名／
東京工科大学教授：1名／日本大学教授：1名

6. 成績優秀者の顕彰

検定試験の結果が優秀と認められた団体受験または個人受験については、別に定める選考基準に基づき、以下の通り表彰した。

	団体受験に対して	個人受験に対して
文部科学大臣賞	1団体	6名(各回2級以上各1名)
当法人による表彰	2団体	133名(各回各級合計)

(ロ) ラジオ・音響技能検定

本検定は受験者減少のため、平成28年度から休止している。

(ハ) レタリング技能検定

1. 試験実施日

A日程：平成30年6月3日（日） B日程：平成30年6月9日（土）

2. 試験会場

各都府県の本会場及び特設会場(準会場)において実施した。

(本会場13、準会場150、計163会場)

3. 受検者数、合格者数等

本検定は、美しく表情豊かな文字をデザインする知識と技能を評価するもので、当年度は下表の通り、志願者数5,613人、受検者数5,486人、合格者数3,480人の結果であった。なお、受検料は、自主会場の団体受検の場合は10%を、一般会場で受検する団体の場合は、5%を割り引いて実施した。

受検級	志願者数	受検者数	合格者数
1級	31	31	2
2級	718	700	195
3級	3,455	3,384	2,215
4級	1,409	1,371	1,068
合計	5,613	5,486	3,480

4. 普及活動

工業高校・専修学校・専門学校などの関連する教育機関や団体に受検案内書を送付する他、ポスター掲示、ウェブサイト、情報誌等への情報提供等により受検者を募った。

5. 検定委員等

平成30年度の検定委員は、下記の専門家により構成し、委員会を開催して試験問題の作成や合否判定等を行った。

デザインオフィス主宰・グラフィックデザイナー：2名／

デザインオフィス主宰・文字・書体デザイナー：2名／

会社員・文字・書体デザイナー：1名／

多摩美術大学造形表現学部デザイン学科講師・

文字・書体デザイナー：1名／

文筆業：1名／

6. 成績優秀者の顕彰

検定試験の結果が優秀と認められた団体受検または個人受検については、別に定める選考基準に基づき、以下の通り表彰した。

	団体受検に対して	個人受検に対して
文部科学大臣賞	1団体	2名
外部団体の表彰		
当法人による表彰	25団体	70名(各級合計)